

日本臨床内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2025年10月16日（木）16:00～17:00

会 場：ライトキューブ宇都宮 4F 小会議室

出席者：方波見卓行、近藤哲夫、西岡 宏、井下尚子、田辺晶代、中村保宏、矢澤卓也、
鈴木 貴、黒崎雅道、水上浩哉、中島正洋、大月道夫、井野元智恵、阿部一朗、
大山健一、福岡秀規、堀内喜代美、和田典男、長村義之、 笹野公伸

欠席者：柴田洋孝、田中知明、大池信之、菊地元史、成瀬光栄、山田正三

同席者：事務局

議題：

I 評議員会・総会と共通の議題

＜評議員会・総会の審議事項＞

1. 2024年度決算及び監査報告の件
2. 2025年度決算見込み及び2026年度予算の件
3. 次々々期（第32回、2028年度）学術総会会長候補者の件
4. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件

＜評議員会・総会の報告事項＞

5. 幹事追加の件（6月理事会承認済）
6. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件（6月理事会承認済）
7. 第29回（2025年度）学術総会研究賞の件
 - 1) 研究賞選考委員（6月理事会承認済）
 - 2) 研究賞受賞者
8. 第30回（2026年度）学術総会の準備状況

II 理事会のみの議題

＜継続審議事項＞

9. 佐野賞について

＜報告事項＞

10. 会員の状況について
11. 学会ホームページへの企業バナー掲載状況
12. 第100回（2027年度）JES学術総会プログラム委員会へ提案する特別演題の募集について
13. 会費長期未納者の取り扱いについて
14. コンサルテーションの現状について
15. 学会への寄付金、奨学金、賛助会員の状況
16. 日本内分泌外科学会の専門医制度における認定学会について
17. その他

冒頭、方波見理事長より、会則の定足数を満たす理事が出席しているので、本理事会は成立する旨報告があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

1. 2024 年度決算及び監査報告の件

西岡財務担当理事より、2024 年度は 1,587,634 円の収入、1,298,757 円の支出があり、288,877 円の黒字決算であったことが報告された。

次に、第 28 回学術総会の決算について、中島会長より説明があった。引き続き井野元監事から、上記 2 件について田中監事と監査を行った結果、2024 年度決算は適正に執行されているとの監査報告があった。

以上、審議の結果、2024 年度決算は全会一致で承認された。明日の評議員会、総会で承認を得る。

2. 2025 年度決算見込み及び 2026 年度予算の件

西岡財務担当理事より、2025 年度決算見込みに関し、収入は予算を下回り、支出の部については、予算を上回った。よって当期収支差額はマイナス約 21 万円の赤字決算の見込みであることが報告された。赤字決算の理由は今年度の学術集会費 35 万円に加え次年度の学術集会費についても支援要請があったため、2 事業年度分の 70 万円が支出されたためと報告された。

引き続き、同理事から、2026 年度予算案に関し、収入・支出とも基本的に 2025 年度予算及び見込を踏襲して予算を計上したことが報告された。当期収支差額は 294,200 円の黒字になる予想である旨述べられた。

以上、審議の結果、これらは全会一致で承認された。明日の評議員会、総会で承認を得る。

3. 次々々期（第 32 回、2028 年度）学術総会会長候補者の件

方波見理事長より、黒崎雅道理事（鳥取大学）を次々々期会長に推举したいとの提案があり、全会一致で承認された。明日の評議員会、総会で承認を得る。

4. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件

方波見理事長より、今年度の名誉会員および功労評議員の被推薦資格に該当する方はなしと報告された。また新評議員については、蔭山和則（東北医科薬科大学）、佐藤伸也（やました甲状腺病院）、高安忍（弘前大学）の 3 名を新評議員として推薦したいとの提案があり、全会一致で承認された。明日の評議員会・総会で承認を得る。

5. 幹事追加の件

方波見理事長より、学会役員の中心メンバーとなる次世代の育成また専門領域の充実化を図るため、阿部一朗評議員（福岡大学）、堀内喜代美評議員（東京女子医科大学）の 2 名を幹事に推薦され春理事会にて満場一致で承認された。明日の評議員会・総会にて報告され、2 名の任期は 2026 年度の総会日までとなることが述べられた。

6. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件

方波見理事長より、下記の各受賞者が報告された。明日の評議員会、総会で報告される。

特別功労賞：島津 章（社会医療法人誠光会 淡海医療センター 先進医療センター

院長特別補佐 兼 先進医療センター長）

佐野賞：鈴木佐和子（千葉大学）

亀谷賞：二川原健（つがる総合病院）

7. 第 29 回（2025 年度）学術総会研究賞の件

矢澤会長より、本年 6 月の理事会にて承認された選考委員の下で選ばれた受賞者について報告があった。明日の評議員会・総会で報告される。

最優秀賞：大館 徹（山梨大学医学部 人体病理学講座）

奨 励 賞：石渡一樹（千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科、
千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学）

奨 励 賞：王 肇超（弘前大学大学院医学研究科 分子病態病理学講座）

8. 第 30 回（2026 年度）学術総会の準備状況

和田会長より第 30 回学術総会の概要が報告された。

日 時：2026 年 10 月 16 日（金）・17 日（土）

会 場：札幌市教育文化会館

テーマを「内分泌病理学の未来を拓く-北の大地からの挑戦-」とし、現在プログラムの検討中であり、ホームページについてもまもなく開設予定であると報告された。

9. 佐野賞について

方波見理事長より、2024 年春理事会からの継続審議事項として、佐野賞の 2028 年度以降の方針について継続の有無、名称、副賞、受賞対象者について理事会後、学会事務局よりメールを送るので、各々ご意見を賜りたい旨要請があった。来年の春理事会にて、意見を集約した結果をお知らせすると述べられた。

10. 会員の状況について

方波見理事長より 2015 年度末から 2025 年 9 月末時点の会員状況を示され、年度毎の会員の推移を確認いただくとともに、役員の先生方より、学術集会での一般演題の応募や学会への入会を促していただきたい旨要請があった。

11. 学会ホームページへの企業バナー掲載状況

欠席の柴田理事に代わり、矢澤理事より全 11 社（うち 1 社は賛助会員）のバナー広告がホームページに掲載されていることが報告された。

12. 第100回JES学術総会プログラム委員会へ提案する特別演題の募集について

本学会代表プログラム委員の西岡理事より、第100回日本内分泌学会学術総会（2027年4月15日～17日、益崎裕章会長（琉球大学））の特別演題等に関するアンケート結果について報告があった。日本臨床内分泌病理学会から、特別講演2題、シンポジウム2題、教育講演3題、クリニカルアワー2題、教育セミナー2題、CPC1題を提出しており、11月初旬に松本で開催される第35回臨床内分泌代謝Update会期前日のプログラム委員会にて討議されると説明された。

13. 会費長期未納者の取り扱いについて

方波見理事長より、本年度末で3年間及び2年間の会費未納者（23名）について、本人、あるいは指導教官を通じて会費納入の働きかけをお願いしたいこと、来年2月に会費再々請求を行った後、3年間の未納者は学会会則第6条に則り退会扱いとなることが説明された。

14. コンサルテーションの現状について

近藤副理事長（コンサルテーション委員長）より、資料の通り本年4月～8月末は2件の依頼があったことが報告された。

15. 寄付金および贊助会員について

方波見理事長より、贊助会員（1件）より会費納入があったことが報告された。

16. 日本内分泌外科学会の専門医制度における認定学会について

方波見理事長より、2025年6月6日の理事会において、日本内分泌外科学会の専門医制度における「認定学会」として当会が申請すべきかについて議論があったが、当会はすでに同会より「業績として認められる学会」として認定されており、当会での学会発表および学術集会への参加が、日本内分泌外科学会専門医制度における「単位」として認められていると報告された。

17. その他

方波見理事長より、次回理事会の開催についてはICE2026/JES2026（国立京都国際会館）の会期中（2026年6月2日（火）～6月7日（土））になるため、会期を外してWeb開催とすることを提案され、可決された。

以上

（記録：事務局、理事長/副理事長/筆頭理事/会長：校閲済）